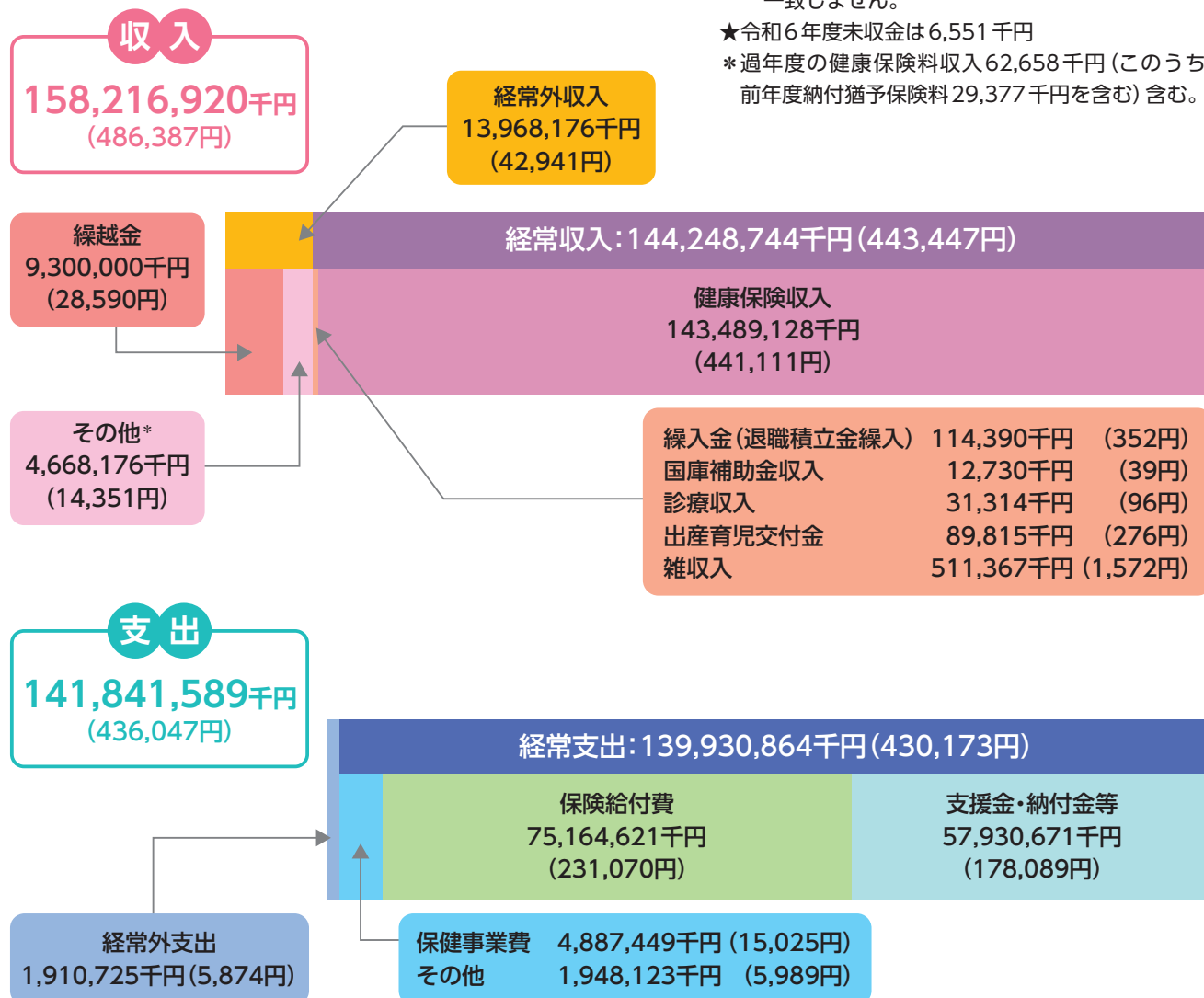


基礎数値

被保険者数… **325,290名** 健康保険料率… **100%** (調整保険料率 1.29 を含む)
 平均標準報酬月額… **334,180円** 介護保険料率… **18.2%** (令和7年度より 15.8%)

収入支出決算概要表



今後の見通し

今後の健保組合を取り巻く情勢としては、依然として増え続ける医療費や高齢者医療制度および介護保険制度への支援金・納付金により、組合財政をさらに圧迫することは確実であり、組合運営にとっていっそう厳しい状況が続いていくものと考えられます。

そのため、組合運営の基礎となる保険料収入の確保を図り、支出の大半を占める医療費の適正化対策として、自動点検方式によるレセプト審査の積極的な推進、ジェネリック医薬品の使用促進、柔道整復療養費に対する照会業務を強化するとともに、第3期データヘルス計画に基づき、生活習慣病の重症化予防のほか、支援金・納付金の減算にもつながるよう特定健診・特定保健指導の受診率・実施率の向上を図り、組合財政の健全化に努めてまいります。

令和6年度決算が承認されました

去る、7月16日(水)に開催されました第175回組合会において、令和6年度の決算が承認されましたので、概要をお知らせいたします。



経常収支差引額は
43億2,443万1千円の黒字

収入 **1,582億1,692万円**

経常収入 **1,442億4,874万4千円**

- ◎年間平均被保険者数は **325,290名**
- ◎年間平均標準報酬月額は、**334,180円**
- ◎その他収入については、前年度からの繰越金93億円を受け入れ、経常外収入は、139億6,817万6千円

支出 **1,418億4,158万9千円**

経常支出 **1,399億3,086万4千円**

- ◎保険給付費は、**751億6,462万1千円**
 全体の1人当たり保険給付費では231,070円となりました。これにより、保険給付費総額は751億6千万円となり、予算を57億5千万円下回りましたが、呼吸器系疾患や悪性新生物などの増加により、前年度決算比は11億4千万円の増額となりました。
- ◎納付金は、**579億3,067万1千円**
 前年度決算比では3億5千万円の増額。団塊世代の後期高齢者移行による加入者の増加等が要因となりました。
- ◎その他支出は、**68億3,557万2千円**
 保健事業費をはじめ事務所費、診療所費など各種事業にわたり契約等の徹底した見直しを図るなど、諸経費の節減に努め、予算比9億3,030万1千円の減額となりました。

介護保険

収入 **151億1,177万3千円**

支出 **135億2,652万1千円**

- ◎介護保険の収支差引額は、**15億8,525万2千円の黒字**となりました。

決算のポイント

令和6年度の決算状況の収入面では、保険料率を引き上げさせていただいたことに加え、被保険者数の増加や賃金引き上げ効果による平均標準報酬月額の増額により保険料収入が前年度決算比124億2,271万2千円の増収となりました。

支出面では、高齢者医療拠出金の過重な負担があったものの、令和5年度までは新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の流行によって高い伸びが続いていた保険給付費の伸び率が比較的落ち着いたことにより、経常収支においては、43億2千万円の黒字となり、5年ぶりの黒字という結果になりました。

今後の当組合の財政状況は、高齢化の進展や医療の高度化による保険給付費の増加はもとより、高齢者医療制度および介護保険制度への支援金・納付金の負担が一段と重くなることが予測されることから、厳しい状況が続くことは確実であり、予断を許さない情勢にあります。